

2013年1月期4月度 月次業績動向 (2012年3月21日～2012年4月20日)



会社名 ピープル株式会社

2012年6月1日

(http://www.people-kk.co.jp/)

上場取引所: 大

TEL: 03-3862-2768

代表者名 取締役兼代表執行役 桐淵千鶴子

コード: 7865

問い合わせ先 IR担当 飛田留美子

(単位: 千円)

科目	《月次の対比》			《期初からの累積の対比》			《過去12ヶ月の対比》		
	2012年1月期 4月度	2013年1月期 4月度	前年 同月比	11/1/21～ 11/4/20	12/1/21～ 12/4/20	前年 同期間比	10/4/21～ 11/4/20	11/4/21～ 12/4/20	前年 同期間比
売上高	297,770	304,888	102.4%	619,557	631,518	101.9%	2,843,177	2,852,233	100.3%
営業利益	24,181	17,086	70.7%	54,037	17,257	31.9%	361,007	255,782	70.9%
経常利益	23,427	16,563	70.7%	53,546	18,193	34.0%	360,862	258,108	71.5%
税引前利益	21,585	16,557	76.7%	51,704	18,187	35.2%	359,023	258,044	71.9%
流動資産	1,953,444	1,906,912	97.6%						
固定資産	151,036	175,069	115.9%						
流動負債	316,454	298,851	94.4%						
固定負債	50,000	50,000	100.0%						
純資産	1,738,027	1,733,131	99.7%						
総資産	2,104,481	2,081,982	98.9%						

【2013年1月期第2四半期 業績予想】

(2012年6月1日発表)

- 〔第2四半期会計期間(4/21～7/20)予想〕
- ・売上高5億25百万円(前年同期間比15%減)
- ・営業利益△46百万円
- 〔第2四半期累計期間(1/21～7/20)予想〕
- ・売上高11億57百万円(前年同期間比6.5%減)
- ・営業利益△29百万円

商品別売上高

商品カテゴリー名	2012年1月期 4月度	11/1/21～ 11年4月度	当月 構成比	11/1/21～ 11/4/20	12/1/21～ 12/4/20	当期間 構成比	10/4/21～ 11/4/20	11/4/21～ 12/4/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	111,650	117,698	38.6%	225,955	205,399	32.5%	1,108,307	1,064,392	37.3%
女兒玩具	68,674	58,085	19.1%	142,105	141,310	22.4%	712,260	740,676	26.0%
遊具・乗り物	86,595	90,175	29.6%	187,351	196,602	31.1%	713,535	734,465	25.8%
その他 (新規・海外販売等)	30,852	38,929	12.8%	64,147	88,205	14.0%	309,075	312,699	11.1%
合計	297,770	304,887	100.0%	619,557	631,518	100.0%	2,843,177	2,852,232	100.0%

4月度新発売商品

商品カテゴリー名	商品名	発売日	標準小売価格 (税込)
乳児・知育玩具	「やりたい放題 セレクト」	2012年4月2日	¥3,654
	「うちの赤ちゃん世界ー メリー&ジム」	2012年4月16日	¥10,290
女兒玩具	「おしゃべりハサミ」	2012年4月2日	¥1,554
	「新おしゃべりベッド」	2012年4月16日	¥3,444
	着せ替え「うさぎのキュロット」	2012年4月16日	¥1,470
	着せ替え「お花のサロペット」	2012年4月16日	¥1,470
	「キャップデコール」	2012年4月16日	¥2,604
遊具・乗り物	「いきなり自転車 ショッピング」(かじとり式)	2012年4月2日	¥24,990

当4月度の玩具市場では、前月3月度後半から徐々に仕入れが開始し復活してきましたが、消費低迷、ヒット品不足のムードは依然変わらない状況です。又、自転車市場は寒波から抜け出した当4月度でも市場全体鈍化ムードが停滞し、補充注文の回復力が不足しています。

こうした環境下、当4月度では玩具・自転車共に新製品発売や、又、ゴールデンウィーク商戦直前に玩具の既存品の一部で駆け込み注文等も重なったことで、売上高は3億5百万円、前年同月比2.4%増まで上昇しました。

しかし、一方で、当月では量販店各社による消費低迷対策として、ロングセラーの定番品を値引きし消費喚起するキャンペーンが頻発し、新製品による需要喚起計画に苦戦を強いられています。

当4月度は乳児・知育カテゴリーで24年のベストセラー品の金型消耗を機に、新製品「やりたい放題セレクト」(税込3,654円)を発売し、流通人気を煽り予想以上の数量の初度出荷をしていますが、一方で定番品「やりたい放題ビッグ版」(税込5,040円)の安売りがぶつられています。或いは、自転車遊具カテゴリーでも「いきなり自転車ショッピング」(税込24,990円)の発売に定番品「いきなり自転車かじとり式」(税込23,940円)の安売りがぶつかる等、こうした消費喚起はゴールデンウィーク商戦でも続くと思われます。

又、乳幼児シリーズの「赤ちゃん専用新聞」「赤ちゃん専用折込チラシ」「お米のつみき」は前月3月から当4月度になっても多くのメディアに露出し、当月の補充注文が上昇し乳幼児ベビー商品群全体が俄かに好調を示しています。

なお、当月は第1四半期末にあたりますため、当第1四半期業績の詳細につきましては本日発表の「平成25年1月期 第1四半期決算短信(非連結)」をご参照下さい。